

授業改善プラン 中学校 第3学年 国語

筆者の意図を読み取ったり、比較読みをしたりする活動を通して、条件に沿って自分の考えを書く力を育成する！

指導について

- ・ 調査問題概要／市正答率

『対談で取り上げた内容を踏まえて自分の考えを書くことを求める』問題

B 1 三 / 正答率 15.3%

- ・ 課題

話の内容を踏まえながら、自分の考えを記述する力が十分には身に付いていない。

- ・ 指導の手立て

「文章を読み比べて、内容について自分の考えを書く」という学習課題を取り上げる。二つの文章の共通点や相違点を読み取る活動を通して、自分の考えを、根拠を明らかにして書く力を育成したい。

【教材名 「テクノロジーとの付き合い方」「テクノロジーと人間らしさ」(吟味・判断)】

【指導計画と評価】

時	指導計画	指導の手立てと留意点 / ☆評価
1	「テクノロジーとの付き合い方」(資料①)と「テクノロジーと人間らしさ」(資料②)の二つの文章を読んで、テクノロジーと人間に関する相違点と共通点を読み取る。 個人→グループ→全体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本文をA4版 1枚にまとめておく。 ・ テクノロジーと人間に関する部分に線を引き、共通点や相違点を確認する。 ☆ 本文に共通点や相違点を見つけることができる。(読むこと、ノート・発表)
2	「テクノロジーとの付き合い方」を読んで、テクノロジーについて考えたことを条件にそって書く。 条件1 200字程度 2 筆者の主張とそれについての自分の考えを書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文章の構成に重点を置き、表記の仕方については、細かく言及しない。 ・ 一文は短くなど書き方を最初に例示する。 ☆ 構成を意識して自分の考えを書くことができる。(書くこと、作文)
3	「テクノロジーと人間らしさ」を読んで、テクノロジーについて考えたことを条件にそって書き、友達と読み合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2時と同様。 ・ 交流を通して、違った視点から考えられるようにする。 ☆ 構成を意識して自分の考えを書くことができる。(書くこと、作文)
4	現代に生きる自分たちはテクノロジーとどのように付き合いしていくべきか、自分の考えを、根拠を明らかにして書き、友達と読み合う。 条件1 200字以上、250字以内 2 根拠を明らかにして、自分の考えを書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2, 3時と同様。 ☆ 根拠を明らかにして自分の考えを書くことができる。(書くこと、作文)